

松本市の景気動向

— 中小企業景気動向基本調査 —

【平成30年1月】

■調査概要（データ対象期間：平成30年1月1日～1月31日）

- 調査期間：平成30年1月26日～平成30年2月22日
- 調査対象：市内中小企業200企業に対して郵送等によるアンケート調査
- 回収状況：建設業23企業、製造業23企業、卸売業15企業、小売業27企業
飲食業20企業、サービス業42企業（運輸、不動産仲介業を含む）
<合計150企業>
- 調査項目：1月の売上・仕入・営業利益・受注量・受注単価・販売(客)数・販売(客)単価
状況向こう3ヶ月の業況見通し（DI値を集計）

(注)DI (Diffusion Index)値は、売上などの各項目についての判断の状況を示す。ゼロを基準として、プラスの値で景気の上向きを表す回答の割合が多いことを示し、マイナスの値で景気の下向き傾向を表す回答の割合が多いことを示す。従って、売上高などの実数値の上昇率を示すものではなく、強気・弱気などの景気感の相対的な広がりの意味する。

※DI=(増加・好転などの回答割合)－(減少・悪化などの回答割合)

松本市・松本商工会議所

概況

業況DI・水準DIともにマイナス幅が拡大

1. 業況判断

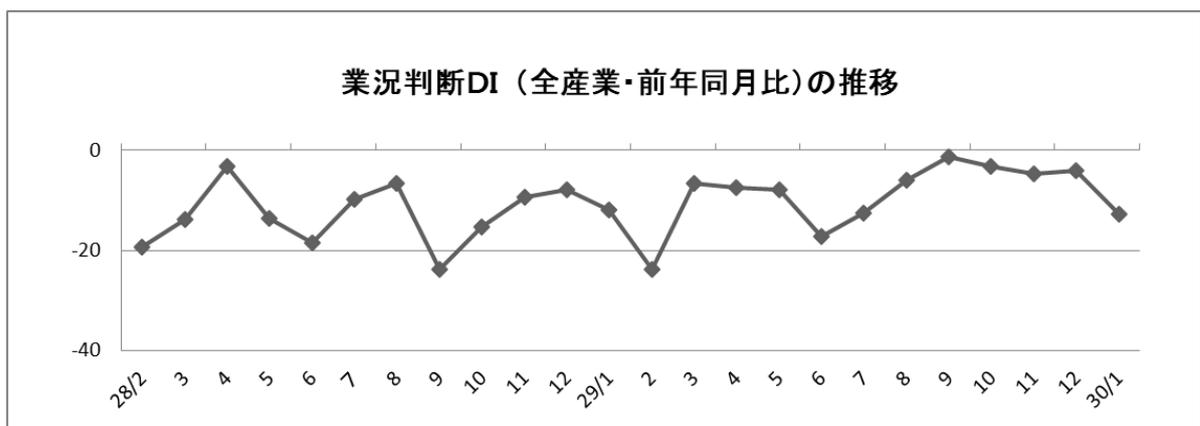
- 全産業合計の業況DI（前年同月比ベース）は、前月（▲4.0）よりマイナス幅が8.7ポイント拡大し、▲12.7となった。業種別では、製造業はマイナスから0となった。卸売業はプラス幅が縮小し、建設業はプラスから0になった。小売業、飲食業、サービス業はマイナス幅が拡大した。
- 全産業合計の水準DIは、前月（▲7.3）よりマイナス幅が16.0ポイント拡大し、▲23.3となった。業種別では、製造業は0からマイナスとなった。卸売業、建設業はプラスからマイナスに転じた。サービス業、飲食業、小売業はマイナス幅が拡大した。

業況判断DI

	業況[前年同月比]				今月の水準			
	好転%	不変%	悪化%	DI	良い%	普通%	悪い%	DI
合計	14.0 (17.3)	59.3 (61.4)	26.7 (21.3)	↓ ▲12.7 (▲4.0)	8.0 (18.7)	60.7 (55.3)	31.3 (26.0)	↓ ▲23.3 (▲7.3)
建設業	17.4 (20.8)	65.2 (70.9)	17.4 (8.3)	↓ 0.0 (12.5)	8.7 (16.7)	65.2 (75.0)	26.1 (8.3)	↓ ▲17.4 (8.4)
製造業	26.1 (18.2)	47.8 (54.5)	26.1 (27.3)	↗ 0.0 (▲9.1)	8.7 (31.8)	65.2 (36.4)	26.1 (31.8)	↓ ▲17.4 (0.0)
卸売業	33.3 (25.0)	46.7 (68.7)	20.0 (6.3)	↓ 13.3 (18.7)	13.3 (12.5)	66.7 (81.2)	20.0 (6.3)	↓ ▲6.7 (6.2)
小売業	7.4 (13.3)	55.6 (56.7)	37.0 (30.0)	↓ ▲29.6 (▲16.7)	0.0 (20.0)	55.6 (40.0)	44.4 (40.0)	↓ ▲44.4 (▲20.0)
飲食業	5.0 (11.8)	60.0 (58.8)	35.0 (29.4)	↓ ▲30.0 (▲17.6)	5.0 (23.5)	55.0 (35.3)	40.0 (41.2)	↓ ▲35.0 (▲17.7)
サービス業	7.1 (17.1)	69.1 (60.9)	23.8 (22.0)	↓ ▲16.7 (▲4.9)	11.9 (12.2)	59.5 (63.4)	28.6 (24.4)	↓ ▲16.7 (▲12.2)

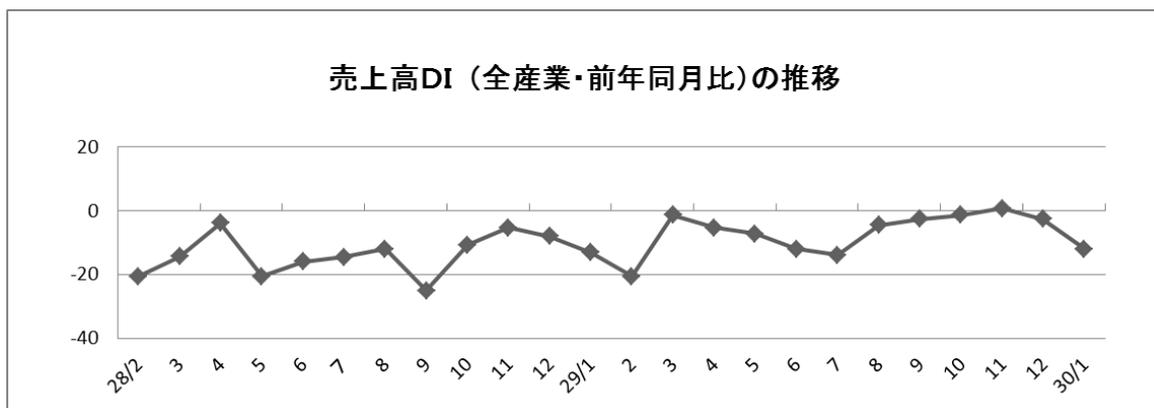
()内は前月データ

※「業況[前年同月比]」・・・前年同月の業況との比較による回答の集計
 「今月の水準」・・・事業主の方の主観による回答の集計



2. 売上高DI（前年同月比）

○全産業合計の売上高DIは、前月（▲2.6）よりマイナス幅が9.4ポイント拡大し、▲12.0となった。業種別に見ると、製造業はマイナス幅が縮小した。卸売業はプラス幅が縮小し、建設業はプラスから0になった。飲食業、サービス業、小売業はマイナス幅が拡大した。

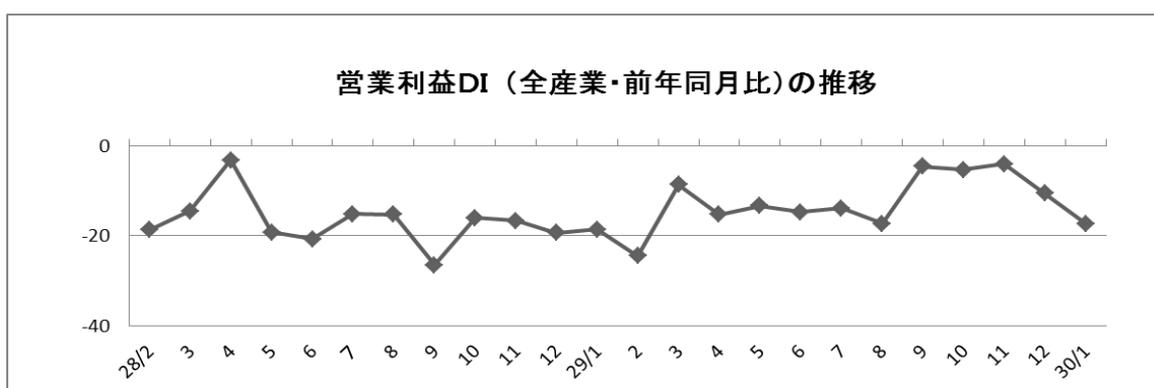


【対前年同月比売上高業種別DIの推移】

	29年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	30年1月
全 体	▲ 13.2	▲ 20.6	▲ 1.3	▲ 5.4	▲ 7.3	▲ 12.0	▲ 13.9	▲ 4.6	▲ 2.7	▲ 1.4	0.7	▲ 2.6	▲ 12.0
建 設 業	▲ 25.0	▲ 22.7	▲ 5.2	▲ 19.1	▲ 28.0	▲ 14.3	0.0	8.7	23.8	13.7	20.0	20.9	0.0
製 造 業	0.0	4.5	5.0	16.7	▲ 9.1	0.0	▲ 31.8	8.7	5.2	▲ 4.5	0.0	▲ 13.7	▲ 4.3
卸 売 業	▲ 43.7	▲ 15.4	▲ 16.6	▲ 28.6	16.6	▲ 33.4	0.0	20.0	0.0	13.4	13.4	25.0	6.7
小 売 業	9.0	▲ 41.2	▲ 2.8	0.0	0.0	▲ 17.6	▲ 20.6	▲ 15.2	▲ 16.1	▲ 12.9	▲ 20.7	▲ 16.7	▲ 33.3
飲 食 業	▲ 33.4	▲ 35.3	▲ 16.7	▲ 14.3	▲ 11.8	▲ 26.6	▲ 44.4	0.0	▲ 15.0	▲ 20.0	0.0	▲ 23.5	▲ 25.0
サービス業	▲ 13.3	▲ 11.6	8.9	▲ 4.6	▲ 5.0	0.0	2.4	▲ 22.5	▲ 4.2	4.9	0.0	▲ 2.5	▲ 9.5

3. 営業利益DI（前年同月比）

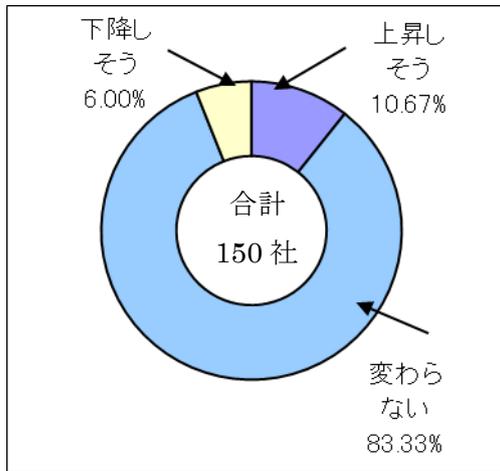
○全産業合計の営業利益DIは、前月（▲10.6）よりマイナス幅が6.7ポイント拡大し、▲17.3となった。業種別に見ると、製造業はマイナス幅が縮小し、卸売業は変わらず。飲食業、サービス業、建設業、小売業はマイナス幅が拡大した。



【対前年同月比営業利益業種別DIの推移】

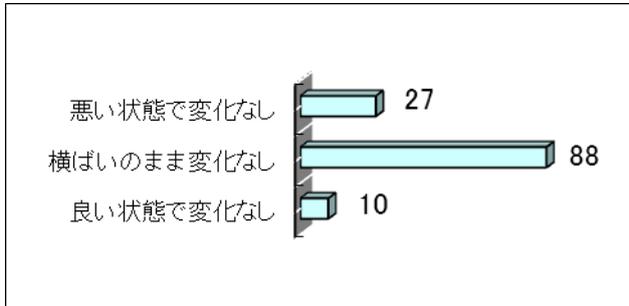
	29年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	30年1月
全 体	▲ 18.6	▲ 24.5	▲ 8.6	▲ 15.3	▲ 13.3	▲ 14.7	▲ 13.9	▲ 17.3	▲ 4.6	▲ 5.3	▲ 4.0	▲ 10.6	▲ 17.3
建 設 業	▲ 20.0	▲ 27.3	▲ 21.0	▲ 33.3	▲ 32.0	▲ 28.6	▲ 4.7	▲ 21.8	4.7	13.6	8.0	▲ 4.2	▲ 13.1
製 造 業	0.0	▲ 9.1	▲ 10.0	▲ 4.1	▲ 9.1	▲ 4.7	▲ 36.4	▲ 8.7	5.2	▲ 9.1	5.0	▲ 4.6	▲ 4.4
卸 売 業	▲ 37.5	▲ 30.8	▲ 8.3	▲ 14.3	8.3	▲ 20.0	▲ 6.6	13.4	▲ 16.7	6.7	▲ 13.3	0.0	0.0
小 売 業	▲ 9.1	▲ 35.3	▲ 2.8	▲ 11.7	▲ 17.6	▲ 20.6	▲ 17.6	▲ 21.2	▲ 9.7	▲ 9.7	▲ 20.7	▲ 20.0	▲ 33.3
飲 食 業	▲ 46.6	▲ 41.2	▲ 22.2	▲ 21.4	▲ 11.8	▲ 26.6	▲ 38.9	▲ 25.0	▲ 10.0	▲ 25.0	0.0	▲ 23.5	▲ 30.0
サービス業	▲ 17.8	▲ 14.0	▲ 2.2	▲ 14.0	▲ 7.5	▲ 2.3	4.9	▲ 25.0	▲ 4.3	▲ 4.9	▲ 2.3	▲ 9.8	▲ 16.7

◇ 向こう3ヶ月の見通し ◇



○平成30年2月～平成30年4月の見通しDIは、「上昇しそう」が前月の調査に比べ6.00ポイント増加し10.67%、「下降しそう」が5.33ポイント減少し6.00%となった。業種別の見通しDIは建設業(8.7)、製造業(8.7)、卸売業(▲13.3)、小売業(7.4)、飲食業(25.0)、サービス業(▲4.7)であった。

➡「上昇しそう」では、「今後の受注が好調なため」「景気が上昇していると感じるため」「2月補正と県債の工事が発注されるため」(建設業)、「新規品の立ち上げおよび量産のため」(製造業)、「設備投資をしたため」(卸売業)、「春の商材のデザインが良いため」「1月よりは良くなりそうのため」(小売業)、「2月は我慢だが、3月、4月と歓送迎会に期待しているため」「春休みがあるため」「歓送迎会で宴会が増えるため」「3月、4月は歓送迎会があるため」(飲食業)、「卒業、入学で毎年売上は上昇するため」「長期プロジェクト受注のため」(サービス業)といった声が寄せられた。

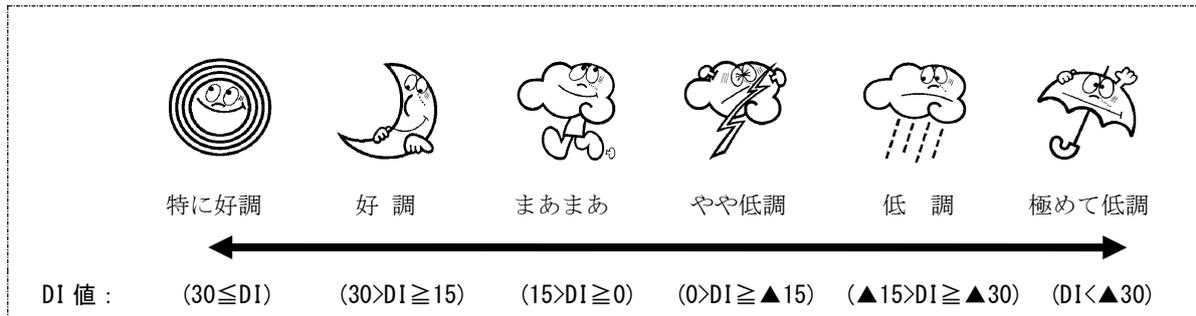


➡「変わらない」では、「年度末を間近に控え3月までの受注量確保に力を発揮できそうのため」「新しい受注は少ないが継続している工事で維持しているため」(建設業)、「顧客のデフレマインドが全く解消しない、そのため営業側もデフレマインド営業となっているため」「内示があるため」「状況の変化が少ないため」(製造業)といった声が寄せられた。

➡「下降しそう」では、「寒い日が続き人出が見込めないため」(小売業)、「求人数の増加と求職数の減少により職業訓練受講希望者が減少しているため」(サービス業)といった声が寄せられた。

業種別景況

<DI | 君の景況判断>



1. 建設業



【項目別DIの推移】

	29年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	30年1月
売上高	▲25.0	▲22.7	▲5.2	▲19.1	▲28.0	▲14.3	0.0	8.7	23.8	13.7	20.0	20.9	0.0
受注量	▲30.0	▲18.2	▲5.2	▲38.1	▲40.0	▲33.4	0.0	▲8.7	9.6	18.2	4.0	12.5	▲8.7
受注単価	▲25.0	▲9.1	▲5.3	▲4.8	▲12.0	▲4.8	4.8	0.0	4.7	▲4.6	0.0	▲12.5	▲8.7
営業利益	▲20.0	▲27.3	▲21.0	▲33.3	▲32.0	▲28.6	▲4.7	▲21.8	4.7	13.6	8.0	▲4.2	▲13.1
見通し	0.0	4.6	10.5	0.0	16.0	9.5	14.2	4.4	0.0	▲4.5	4.0	0.0	8.7

<経営者の目・見方・etc>

- 管工事
 - ・見通しは難しい。大手主導のため自発的営業が出来ない状況である。受注の在りかたが変わらないかぎり、現状は変わらない。
- 電気工事
 - ・公共工事も一般民間工事でも下火で業況はあまりよくない。新年度に期待するのみで手立てがない。
- 鉄工
 - ・今月はおおむね低調であった。受注生産のため、どうしても客先の都合に引きずられてしまう部分があり、悪い循環となった。今後、受注は順調に進んでいるため、いかに生産性を高めて働き方改革に順応できるか体制を考えつつ、こなしていきたい。
 - ・東京五輪関連施設等の需要で首都圏での仕事量は高水準となっている。単価も上がって欲しい。
- 土木工事
 - ・年間を通じ好調な月はあまりない。受注を安定的に確保できていないことが長い間課題となっている。
- 総合建設
 - ・来年度の国、県、市町村の公共事業予算に注目している。

2. 製造業

売上高	受注量	受注単価	営業利益	今後3ヶ月
				
やや低調	やや低調	やや低調	やや低調	まあまあ

(各項目別前年同月比)

【項目別DIの推移】

	29年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	30年1月
売上高	0.0	4.5	5.0	16.7	▲ 9.1	0.0	▲ 31.8	8.7	5.2	▲ 4.5	0.0	▲ 13.7	▲ 4.3
受注量	▲ 9.1	▲ 4.5	▲ 15.0	4.2	▲ 18.2	0.0	▲ 27.3	4.3	15.8	▲ 9.1	0.0	▲ 13.6	▲ 8.7
受注単価	▲ 18.2	0.0	▲ 5.0	▲ 16.6	▲ 9.1	▲ 33.3	▲ 27.3	▲ 4.4	▲ 10.5	▲ 18.2	▲ 15.0	▲ 13.6	▲ 8.7
営業利益	0.0	▲ 9.1	▲ 10.0	▲ 4.1	▲ 9.1	▲ 4.7	▲ 36.4	▲ 8.7	5.2	▲ 9.1	5.0	▲ 4.6	▲ 4.4
見通し	0.0	9.1	▲ 20.0	▲ 4.2	▲ 4.5	▲ 4.7	▲ 4.5	0.0	▲ 5.3	0.0	▲ 5.0	▲ 9.1	8.7

<経営者の目・見方・etc>

精密機械	・製造業の需要は全体的に高いが、人手不足や部品不足が足かせとなってしまうている。
ケーブル加工	・設備向け電装ケーブル等の引き合いが例年の倍くらいに増加しているが、新規や単発、納期が短いなどの理由で受けることが出来ない。
紙器	・毎年1月の売上は落ち込むが、今年は売上が増加している。このまま継続できそうである。
金属塗装	・ようやく12月から受注が増えたが塗装だけで、銘板はあまり良くない。燃料費の上昇が心配である。
印刷	・長野県中小企業団体中央会の昨年12月に出された報告書「長野県における中小企業の労働事情」の業種別経営状況で印刷・同関連業の深刻さが浮き彫りになっている。他業種で1割近く、良い方では4割近くを占める「良い」状況が、印刷業ではたった2%。「悪い」も他業種の状況が3割前後ないしはそれ以下の中、印刷・同関連業は6割を超えている。個別に1対1で真面目に積算し見積もるのが馬鹿をみるようなデフレ状況である。隣接する製紙業界、デザイン業界は印刷業とは大きな格差で、むしろ羽振りの良さが感じられる。 ・書籍業界は徐々に忙しくなり、動き出しつつある。

3. 卸売業

売上高	販売客数	販売客単価	営業利益	今後3ヶ月
				
まあまあ	まあまあ	まあまあ	まあまあ	やや低調

(各項目別前年同月比)

【項目別DIの推移】

	29年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	30年1月
売上高	▲ 43.7	▲ 15.4	▲ 16.6	▲ 28.6	16.6	▲ 33.4	0.0	20.0	0.0	13.4	13.4	25.0	6.7
販売客数	▲ 6.2	▲ 7.7	▲ 16.7	▲ 7.2	0.0	▲ 20.0	6.6	6.7	0.0	▲ 6.7	6.6	0.0	0.0
販売客単価	▲ 18.7	▲ 15.4	▲ 8.3	▲ 14.3	0.0	▲ 26.6	0.0	6.7	▲ 8.4	6.6	13.3	18.8	6.7
営業利益	▲ 37.5	▲ 30.8	▲ 8.3	▲ 14.3	8.3	▲ 20.0	▲ 6.6	13.4	▲ 16.7	6.7	▲ 13.3	0.0	0.0
見通し	0.0	0.0	8.3	7.1	8.3	▲ 6.7	▲ 13.3	6.7	▲ 8.3	▲ 6.7	▲ 6.7	▲ 6.2	▲ 13.3

<経営者の目・見方・e t c>

- 業務用食品
 - ・価格競争、燃料の値上がり、納品時間の指定などで物流コストが増加しているため利益の確保が難しい。
- 金属製品
 - ・地元加工先は依然として関東商社の案件により、仕事を沢山抱えている。材料込みの受注であるため、地元からの材料調達は少ない。鉄相場はまだ上昇する見込み。
- 機械工具
 - ・正月休み、寒さの関係か悪かった。来月からは回復しそうである。
 - ・非常に寒い日が続き、雪も降り稼働日も少なかったが設備投資した機械が受注に間に合い大きな売上に繋がった。
- 土産品
 - ・都市部と比較すると売上等にかなり差がある。冬の時期は厳しさを実感する。春に向け新製品の開発や新規取引先を増やしていきたい。

4. 小売業

売上高	販売客数	販売客単価	営業利益	今後3ヶ月
				
極めて低調	低調	やや低調	極めて低調	まあまあ
(各項目別前年同月比)				

【項目別DIの推移】

	29年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	30年1月
売上高	9.0	▲ 41.2	▲ 2.8	0.0	0.0	▲ 17.6	▲ 20.6	▲ 15.2	▲ 16.1	▲ 12.9	▲ 20.7	▲ 16.7	▲ 33.3
販売客数	3.1	▲ 41.2	▲ 8.3	▲ 3.0	▲ 8.8	▲ 14.7	▲ 17.6	▲ 9.1	▲ 16.1	▲ 22.5	3.5	▲ 30.0	▲ 25.9
販売客単価	▲ 12.1	▲ 32.3	0.0	▲ 11.7	▲ 5.9	▲ 20.6	▲ 23.5	▲ 24.3	▲ 19.3	0.0	▲ 10.4	0.0	▲ 3.7
営業利益	▲ 9.1	▲ 35.3	▲ 2.8	▲ 11.7	▲ 17.6	▲ 20.6	▲ 17.6	▲ 21.2	▲ 9.7	▲ 9.7	▲ 20.7	▲ 20.0	▲ 33.3
見通し	▲ 3.0	2.9	▲ 8.3	2.9	0.0	▲ 8.8	▲ 5.9	▲ 9.1	▲ 3.2	3.3	3.4	▲ 13.3	7.4

<経営者の目・見方・e t c>

- 住宅機器
 - ・今月に入り動きが悪くなった。
- 化粧品
 - ・今までになくメーカー欠品が各社多い。歳末から新年にかけてのインバウンドの影響が強い模様である。
- 婦人服
 - ・セール月なので迷いなく、売り切る売場作りを行った。セール表示をしっかりとつけ、セールの面積も広くした。お茶出しのおもてなしも正規価格の月と変わりなく行ったことなどによりお店に親しみを持っていただけた。
- ショッピングセンター
 - ・年末年始は暦の関係で休日が少なく、前年に比べるとやや集客が厳しかった。初売り、セールに関してもその影響を受けた状況。その後は順調に推移するも、月末は降雪により来街者の減少が大きかった。

印章

- ・印章業界に激震。「デジタル・ガバメント実行計画」が決まり、押印の見直し、法人設立における印鑑届出義務の廃止、政府が書面によらないデジタル取引を促している。印章関係の約2万軒の行く先は風前の灯火なのか。
- ・「法人登記時に印鑑登録の義務がなくなる」という法案が年度末に成立する見込みになっている。法人設立の手続きをオンラインで済ますための施策だそうだが、実際の各種取引から印鑑証明の提出がなくなるのだろうか。行政手続きのデジタル化に対応した情報漏洩や偽証取引対策などは出来ているのだろうか。会社、自治体、金融機関等での「印鑑証明書の提出」と「実印の押印」が廃止されると印章店は全滅すると思われる。

陶磁器

- ・穏やかなお正月から始まったが、寒い日が多く、致命的な積雪こそなかったものの人の動きは今一つだった。松本あめ市も好天に恵まれたものの、成人の日の三連休と重ならなかったのも、例年ほどの人出とはならなかった。

手芸材料

- ・寒さが厳しく、人出が少なかった。

生鮮食品

- ・雪が無い正月を迎えられて客足も良かった。今年に入り仕入が値上がりしている。まだ上がりそうで3、4年前の高値ほどになりそうである。

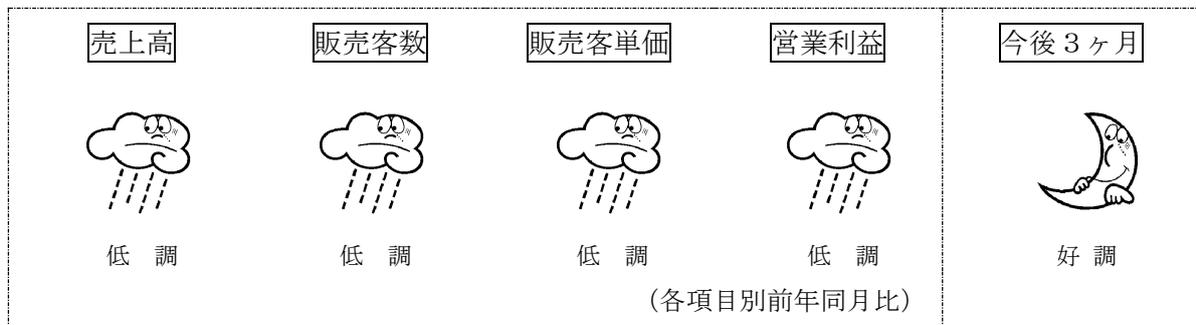
菓子

- ・3回目の「松本スイーツコンテスト」が開催された。1月は例年、商店街は静かな時だが今年は特に中心街の通りが静かに感じた。

書籍・木のおもちゃ

- ・来店客数の減少が著しくなかなか売上が上がらない。今から新学期の需要に向けて取り組んでいきたい。来店客数が少ないので、客単価を増やす工夫をしていきたい。

5. 飲食業



【項目別DIの推移】

	29年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	30年1月
売上高	▲ 33.4	▲ 35.3	▲ 16.7	▲ 14.3	▲ 11.8	▲ 26.6	▲ 44.4	0.0	▲ 15.0	▲ 20.0	0.0	▲ 23.5	▲ 25.0
販売客数	▲ 33.4	▲ 35.3	▲ 11.1	▲ 14.3	▲ 5.9	▲ 33.3	▲ 38.9	▲ 12.5	▲ 10.0	▲ 20.0	5.9	▲ 23.5	▲ 30.0
販売客単価	▲ 6.6	▲ 35.3	5.6	▲ 14.3	▲ 11.7	▲ 26.7	▲ 33.3	6.3	▲ 15.0	▲ 25.0	0.0	▲ 23.5	▲ 25.0
営業利益	▲ 46.6	▲ 41.2	▲ 22.2	▲ 21.4	▲ 11.8	▲ 26.6	▲ 38.9	▲ 25.0	▲ 10.0	▲ 25.0	0.0	▲ 23.5	▲ 30.0
見通し	0.0	▲ 11.7	16.7	14.3	0.0	6.7	▲ 5.6	▲ 6.2	0.0	▲ 5.0	5.9	▲ 17.6	25.0

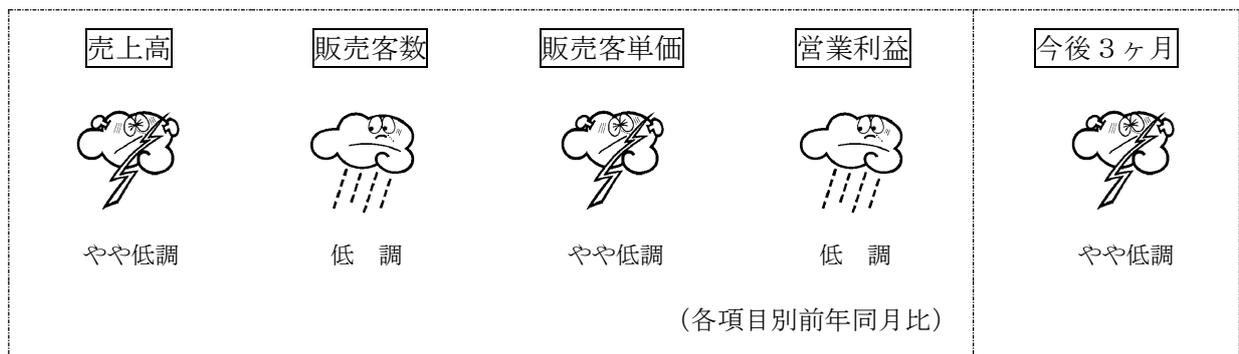
<経営者の目・見方・etc>

中華料理

- ・例年正月は2日から営業しているが昼、夜ともおかげさまで満席であった。三日は休みたいところだが嬉しい悲鳴である。
- ・松本あめ市、氷彫フェスティバルとイベントがあり、街に人が出てきて非常にありがたい。冬の寒い時期に賑やかになることは素晴らしく、関係者の皆様に感謝している。

食堂	・イオンモール松本が開店して4ヶ月が経ち、平日の売上は開店前とほぼ同様の状態に戻った。土日の入込は相変わらず多い。中町からの日の出町通りの歩行者は多くなった。正月三が日の人出はすごかった。今は車の渋滞はほとんど見られない。大雪の後、寒さが厳しいせいかめっきり人出が減っている。
喫茶	・大型店出店に伴う影響に関する調査の結果報告があった。結果については推して知るべし。今後は事業者の調査の他に、消費者の視点からの調査も必要あり。そこに、街づくりのヒントがあるのではないか。消費者が何を望み、何を求めているのか、事業者を牽引する行政と共に考えていきたい。
郷土料理	・外国の客も少数で低調に終わった昨年。久々に普通の1月となった。来月の予約も少ないがこのまま良い方向に向かって欲しい。
寿司	・厳しい寒波が日本列島に覆い被さった。行き会っても挨拶は「寒いね」、「寒いです」である。こんな寒い時には外に出る気は無くなる。 ・売上は一部降雪の影響があった。
洋風居酒屋料理	・新年会が以前よりも減ったように思う。周りからもそういった声を聞く。 ・新年会など客数の減少傾向であったが、固定客のありがたさを感じる月であった。
そば	・懸念されるのは食材の高騰。魚介類は引き続き値上がり傾向であるが、特にここ数か月の値上がりが顕著であるのは、昨年秋の台風により作付けが遅れた葉野菜を中心とした野菜の高騰。その他運送費の高騰も考えると、食材に限らない値上げが今後も見込まれる中で、『お客様にとっての付加価値とは何か』ということを再考したい。 ・正月は日の並びが良くなく元旦、2日は人出も多く穏やかであったが例年並みの新年会で平凡な新年のスタートとなった。

6. サービス業



【項目別DIの推移】

	29年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	30年1月
売上高	▲13.3	▲11.6	8.9	▲4.6	▲5.0	0.0	2.4	▲22.0	▲4.2	4.9	0.0	▲2.5	▲9.5
販売客数	▲17.7	▲14.0	4.4	0.0	▲7.5	▲2.3	▲2.5	▲24.4	0.0	0.0	▲2.3	▲9.8	▲23.9
販売客単価	▲4.4	▲7.0	0.0	2.3	0.0	9.1	0.0	7.4	▲4.2	9.8	▲4.6	▲2.4	▲4.8
営業利益	▲17.8	▲14.0	▲2.2	▲14.0	▲7.5	▲2.3	4.9	▲24.4	▲4.3	▲4.9	▲2.3	▲9.8	▲16.7
見通し	8.9	0.0	6.6	7.0	▲5.0	4.5	0.0	▲4.9	8.5	▲4.9	0.0	0.0	▲4.7

<経営者の目・見方・e t c>

介護サービス	・2018年度からの介護保険制度改定の全容が明らかになった。経営規模別の報酬改定によれば小規模事業所への打撃は予測していたよりは少ないようだが、関連する施策の変更が今後どのように影響するか不安である。
不動産賃貸	・イオンモール松本の影響は少ない。
ホテル	・松本駅の南側と、伊勢町にホテルが建設予定とのこと。松本の街も変わりそうである。 ・宿泊は好調。宴会、会議の売上も好調。 ・食材の値段が上がっているが値上げは難しい。
温泉旅館	・サービスや質よりも安い値段の方へ予約が流れている。客単価を上げるのは相当厳しい状況である。 ・動きが悪化。春まで我慢である。
旅館	・週末の天気に客足が左右されている。
ソフトウェア	・クラウド利用の話題が多いが、実際には自社業務の構築についてはオンプレミス（社内環境）が最初の検討材料になる。大手顧客が同じく大手の営業トークに惑わされ、失敗案件のニュースになることが多いが、地方の中小企業については、しっかり自社業務を見つめ直し、技術的に優れた IT パートナーを見つけることが求められる。
理容	・寒さが厳しく外出も控えめであった。
タクシー	・新年の行事や催しが各地で行われて街中は賑わったが、客数と売上は前年並みであった。
写真	・成人式、記念写真、センター試験用受験写真の需要があった。
リラクゼーション	・雪が降ると客数が減少する。
機械設計	・来期の予定がまだ立っていない。製造業はまだ忙しさは続いている。まだ納期が遅れている部品がある。
ペットサービス	・来店客数、売上共に上回った。2月は売上が減少するので限定プラン、クーポンなどにより集客を図る。
自動車整備	・販売の落ち込み、検査台数の減少等があった。例年と比べると3分の1以下であった。この先の見通しが悪く、業界としても良い話は聞かない。 ・デフレ脱却、インフレを感じる
ホームクリーニング・リネンサプライ業	・例年よりも寒い月が多く、灯油など経費がかさむ時期である。ガソリン、灯油の値上がりも気になる場所である。早く春をむかえたい。